

# 二本松市放射線量測定マップ

二本松市では、平成27年6月22日から7月10日にかけて、市内全域の放射線量を測定しました。測定の結果、放射線量が最も高かった地点は0.92 $\mu$ Sv/h、最も低かった地点は0.06 $\mu$ Sv/h、全体の平均では0.35 $\mu$ Sv/hとなりました。全体平均の前回調査(H26.6.23～7.10)は0.44 $\mu$ Sv/hであったので、今回の調査と比較すると20.5%の低減となりました。また、平成23年度調査(H23.6.28～7.1)と比較すると、前回調査では60.4%の低減が見られましたが、今回の調査では68.5%の低減となりました。これらは、放射性物質の物理的減衰や風雨などの自然要因による減衰(ウェザリング効果)により低減したとみられます。

地図内の数値の単位は全て $\mu$ Sv/h(毎時マイクロシーベルト)です。

## 測定内容

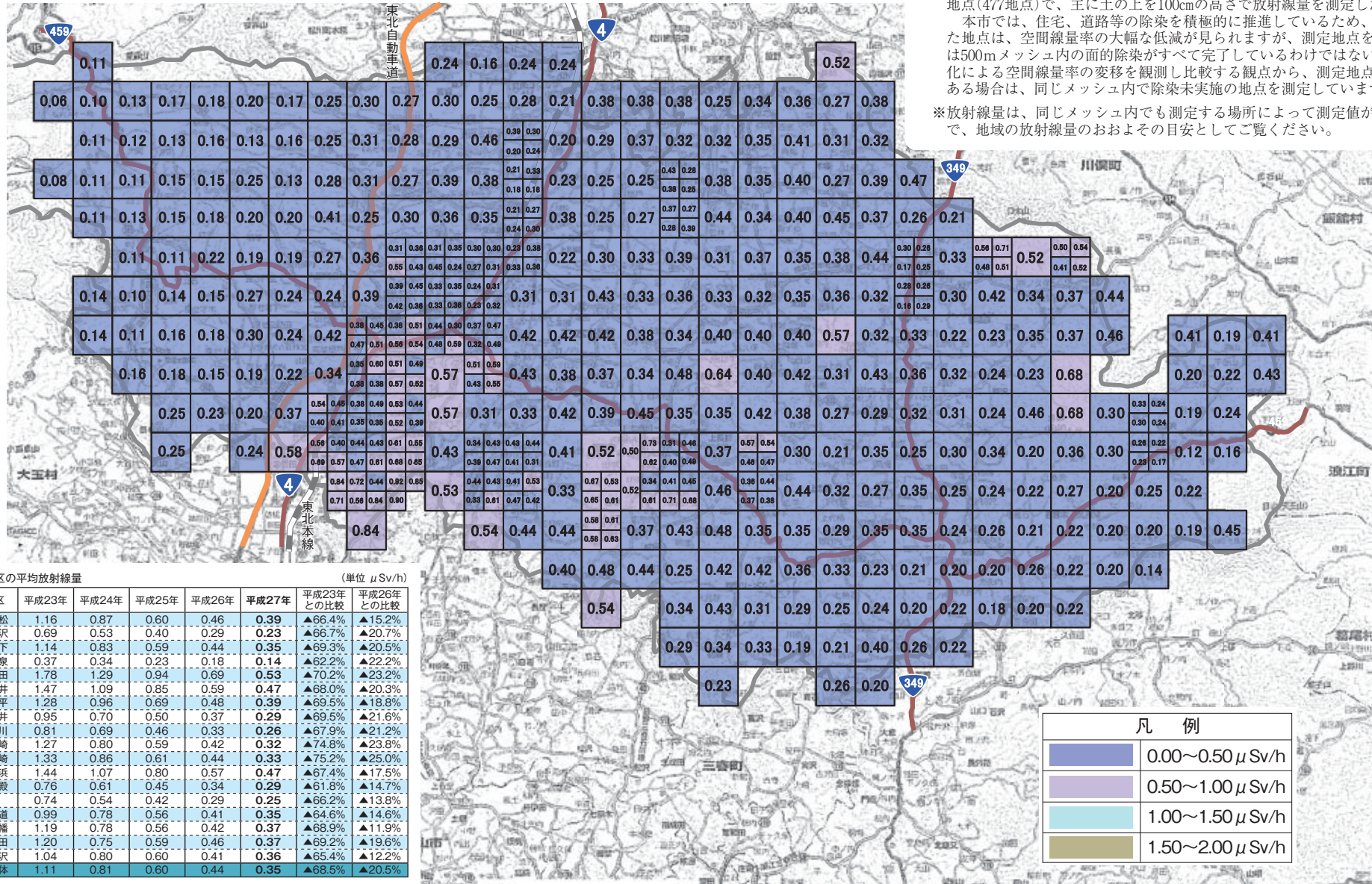
**測定日** 平成27年6月22日(月)～7月10日(金)

**測定機器** NaIシンチレーションサーベイメータ(TCS-172B)

**測定箇所** 市内を1kmメッシュ(市街地等は500mメッシュ)で区分し、それぞれの地点(477地点)で、主に土の上を100cmの高さで放射線量を測定した結果です。

本市では、住宅、道路等の除染を積極的に推進しているため、除染が完了した地点は、空間線量率の大幅な低減が見られますが、測定地点を含む1kmまたは500mメッシュ内の面的除染がすべて完了しているわけではないため、経年変化による空間線量率の変移を観測し比較する観点から、測定地点が除染完了である場合は、同じメッシュ内で除染未実施の地点を測定しています。

※放射線量は、同じメッシュ内でも測定する場所によって測定値が異なりますので、地域の放射線量のおおよその目安としてご覧ください。



○各地区の平均放射線量 (単位  $\mu$ Sv/h)

地区	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成23年との比較	平成26年との比較
二本松	1.16	0.87	0.60	0.46	0.39	▲66.4%	▲15.2%
塩沢	0.69	0.53	0.40	0.29	0.23	▲66.7%	▲20.7%
岳下	1.14	0.83	0.59	0.44	0.35	▲69.3%	▲20.5%
岳温泉	0.37	0.34	0.23	0.18	0.14	▲62.2%	▲22.2%
杉田	1.78	1.29	0.94	0.69	0.53	▲70.2%	▲23.2%
石井	1.47	1.09	0.85	0.59	0.47	▲68.0%	▲20.3%
大平	1.28	0.96	0.69	0.48	0.39	▲69.5%	▲18.8%
油井	0.95	0.70	0.50	0.37	0.29	▲69.5%	▲21.6%
渡川	0.81	0.69	0.46	0.33	0.26	▲67.9%	▲21.2%
上川崎	1.27	0.80	0.59	0.42	0.32	▲74.8%	▲23.8%
下川崎	1.33	0.86	0.61	0.44	0.33	▲75.2%	▲25.0%
小浜	1.44	1.07	0.80	0.57	0.47	▲67.4%	▲17.5%
新殿	0.76	0.61	0.45	0.34	0.29	▲61.8%	▲14.7%
旭	0.74	0.54	0.42	0.29	0.25	▲66.2%	▲13.8%
針道	0.99	0.78	0.56	0.41	0.35	▲64.6%	▲14.6%
木幡	1.19	0.78	0.56	0.42	0.37	▲68.9%	▲11.9%
太田	1.20	0.75	0.59	0.46	0.37	▲69.2%	▲19.6%
戸沢	1.04	0.80	0.60	0.41	0.36	▲65.4%	▲12.2%
全体	1.11	0.81	0.60	0.44	0.35	▲68.5%	▲20.5%

	0.00～0.50 $\mu$ Sv/h
	0.50～1.00 $\mu$ Sv/h
	1.00～1.50 $\mu$ Sv/h
	1.50～2.00 $\mu$ Sv/h